

馬産地ライター村本浩平の 2020 スタリオンシリーズ競走種牡馬名鑑



Vol. 4 | 9.29 [火] ▶ 11.5 [木] 開催分

10.1
[木]

マクフィ賞

【サンライズカップ [H1]】

初年度
産駒
デビュー

父Dubawi、母Dhelaal(母の父Green Desert)の13歳馬。2歳のデビューから3連勝で、GⅠ英2000ギニーを優勝。同じ3歳時にはGⅠジャック・ル・マロワ賞も勝利し、父Dubawi、祖父Dubai Millenniumとの親子3代制覇という快挙を成し遂げます。その翌年からイギリスで種牡馬入り。シャトルサイアーとしてニュージーランドでも繋養されるなど、ワールドワイドにその血を広げて行きます。生涯成績の4勝が全てマイル以下というスピード能力の高さは産駒にも遺伝されたようで、フランス、オーストラリア、ニュージーランドでGⅠ馬が誕生。日本で誕生した初年度産駒は今年デビューしており、ルーチェドーロがGⅢ函館2歳Sで2着となるなど、好調な滑り出しを見せています。

10.7
[水]

デクラレーションオブウォー賞

【瑞穂賞 [H2]】

父War Front、母Tempo West(母の父Rahy)の11歳馬。2歳時に2連勝をあげたデクラレーションオブウォーですが、初GⅠ制覇は4歳夏のクイーンアンSでした。続くGⅠエクリプスSでも2着となり、ヨークインターナショナルSでGⅠ2勝目をあげます。その後はGⅠBCクラシックにも出走。デビュー以来初めてのダート戦ながらも3着に入着と、オールラウンダーな競走馬であることを証明します。現役時は世界4ヵ国でレースをしましたが、種牡馬としてもアイルランド、アメリカと渡り歩き、2019年シーズンからは日本で繋養。世界各国で重賞馬を送り出している能力の高さや、和合性の高さからしても、日本でもオールラウンダーな産駒成績が期待できそうです。

11.3
[火・祝]

ディスクリートキャット賞

【ブロッサムカップ [H3]】

初年度
産駒
デビュー

父Forestry、母Pretty Discreet(母の父Private Account)の17歳馬。ディスクリートキャットがその名を世界に知らしめたのはGⅡUAEダービー。この年のエクリプス賞年度代表馬に輝くInvasorに、生涯唯一の敗戦を刻み込みます。その後はGⅡジェロームBCHを制し、続くシガーマイルでGⅠウイナーとなりました。4歳を迎えてからは勝ちきれないレースが続く、その年に現役を引退して、アメリカで種牡馬入り。産駒は北米で次々とGⅠを制しただけでなく、日本でも輸入馬のエアハリファがGⅢ根岸Sを優勝しています。日本には2017年シーズンから繋養。フレッシュチャレンジ競走をメイストームが勝利し、国内で誕生した初年度産駒における初勝利を飾りました。

11.3
[火・祝]

サンダースノー賞

【JBC2歳優駿 (JpnⅢ)】

新種牡馬

父Helmet、母Eastern Joy(母の父Dubai Destination)の6歳馬。2歳時のクリテリウムアンテルナショナルでGⅠ初制覇。3歳時にもGⅠジャンプラ賞、4歳時と5歳時には史上初となるGⅠドバイワールドCを連覇。芝やダート、距離といった条件を問わず、年齢を重ねてからも常に高いパフォーマンスを見せていたのがサンダースノーです。また、2歳の5月のデビューから、ラストランとなった5歳の6月までに、24戦(うち重賞23戦)を戦い抜いたタフさもセールスポイントと言えるでしょう。その年の暮れに引退を発表し、日本では2020年シーズンから繋養。日本の主流血統とはアウトクロスが作りやすい血統背景や万能な競走成績も相成って、早速多くの繁殖牝馬を集めています。

11.5
[木]

ファインニードル賞

【道営スプリント [H1]】

父アドマイヤムーン、母ニードルクラフト(母の父Mark of Esteem)の7歳馬。芝スプリントを中心に、多くの活躍馬を送り出しているアドマイヤムーン産駒の中でも、高松宮記念、スプリンターズSとスプリントGⅠを唯一2勝しているのがファインニードルです。初重賞制覇を果たしたのは5歳時のGⅡシルクロードSという遅咲きの活躍ながら、6歳時には2つのスプリントGⅠだけでなく、GⅢセントウルSに加えてシルクロードSも連覇。この年はJRA賞最優秀短距離馬にも選出されました。2019年に現役を引退して、そのままスタッドイン。繋養先となるダーレー・ジャパン・スタリオン・コンプレックスには父も繋養されており、更なる父系の発展も望めそうです。

11.5
[木]

スクリーンヒーロー賞

【道営記念 [H1]】

父グラスワンダー、母ランニングヒロイン(母の父サンデーサイレンス)の16歳馬。4歳時にGⅡアルゼンチン共和国杯で重賞初制覇。続くGⅠジャパンCも制したことで、種牡馬としての道が開けたスクリーンヒーローですが、その道を更に延ばしていったのは、初年度産駒から誕生したGⅠ6勝馬のモーリス、グランプリホースとなったゴールドアクターの活躍と言えます。その後も毎年のように重賞馬を送り出していき、今年もウインマリリンがGⅡフローラSを優勝し、GⅠオークスでも2着に入着しています。先述のGⅠ馬2頭だけでなく、重賞を制した産駒たちも次々とスタッドイン。今後は父が切り開いた道を子どもたちが長く、そして太く延ばしてくれることでしょう。

今シーズンは特別競走13レースも 「スタリオンシリーズ競走」として開催!

- 9/29 [火] ビッグアーサー賞
- 10/15 [木] アドマイヤムーン賞
- 10/27 [火] ヤマカツエース賞
- 10/28 [水] キタサンミカヅキ賞 新種牡馬

「スタリオンシリーズ競走」は、一般社団法人JBC協会(ジャパンブリーダーズカップ協会)が産地の支援を得て、優勝馬の馬主や生産者に種牡馬の翌年種付権利を副賞として贈呈する競走です。

※生産牧場が海外の場合は付与対象外となります。

